



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月5日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 3577 URL <https://www.tokai-senko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷲 裕一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 河西 勝 TEL 052-856-8141
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,435	5.5	263	—	310	537.0	168	—
2024年3月期第3四半期	9,890	0.3	△34	—	48	△67.6	△30	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 339百万円 (△43.0%) 2024年3月期第3四半期 594百万円 (1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	53.44	—
2024年3月期第3四半期	△9.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,016	8,243	46.4
2024年3月期	14,553	8,009	47.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 6,968百万円 2024年3月期 6,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想の修正については、2024年8月23日公表いたしました「特別利益、特別損失の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	8.2	400	831.1	500	268.9	300	131.1	95.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)及び(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	3,614,252株	2024年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	457,812株	2024年3月期	457,556株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	3,156,533株	2024年3月期3Q	3,156,873株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景とした個人消費の回復やインバウンド需要の高まり、企業の設備投資需要の増加により、景気は緩やかな回復を続けております。一方、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊張による原材料価格やエネルギー価格の高止まりや物価上昇、欧米諸国の金融政策に起因した為替相場の変動、米国新政権の動向など、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、国内染色加工事業の収益改善を最重要課題とし、継続的な価格転嫁の実施、取引条件見直し、生産性向上、原材料・エネルギー原単位削減などにより収益性の改善を推進、不十分ながら一定の成果を得ることが出来ました。

また、環境に配慮した節水活動、再生可能エネルギーの活用によるCO₂排出量削減、薬品の回収・再利用、社会・福祉施設への貢献・支援活動など、SDGsの達成に向けた取組みも継続実施しております。

海外染色加工事業では、新規市場開拓や受注拡大、市場に求められる素材に対応した加工技術確立や生産性向上、コストダウンなど、前期からの取組み成果や2025年レバラン向け受注の取込みにより大幅な収益拡大を図っております。

子育て支援事業では、企業内保育所に於ける運営受託の更新・切り替え需要を積極的に取り込むことで拠点数の増加を図っております。また、2025年4月より新規に放課後児童健全育成事業へ参入、同事業にて7か所の運営受託が決定いたしました。

洗濯事業では、好調なインバウンド需要に伴うホテルリネンの増加や価格改定の実施、新規設備の導入により、売上拡大を図りました。

これらの結果、売上高は10,435百万円（前年同期比5.5%増、545百万円増）となり、営業利益は263百万円（前年同期は営業損失34百万円）、経常利益は310百万円（前年同期比537.0%増、261百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は168百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

a. 染色加工事業

染色加工事業は、売上高は7,152百万円（前年同期比4.4%増、301百万円増）となり、営業利益は65百万円（前年同期は営業損失231百万円）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。
（加工料部門）

国内では、売上数量の増加により増収を確保しました。上昇を続ける製造コストに対し、値上げ・条件改訂により収益改善の傾向にあるも、十分な価格転嫁には至っておりません。

海外では、主力のインドネシア子会社において、市場のニーズや変化に対応するため、加工設備・条件・技術の見直しや改善に注力したことで、大幅な受注拡大に繋がりました。

これらの結果、加工料部門の売上高は5,899百万円（前年同期比7.9%増、434百万円増）となりました。

（テキスタイル販売部門）

海外では、長期に渡った在庫調整が一段落し、レバランに向けた商品の作り込み開始による受注拡大から増収となりました。

国内では、アパレル向け販売が低調に推移し大幅減収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は1,253百万円（前年同期比9.6%減、132百万円減）となりました。

b. 縫製品販売事業

縫製品販売事業では、セレクト向け婦人衣料は好調に推移するも、キャラクター関連グッズ販売の落込みにより、売上高は244百万円（前年同期比11.7%減、32百万円減）、営業利益は13百万円（前年同期比33.3%減、6百万円減）となりました。

c. 子育て支援事業

子育て支援事業は、企業内保育所の運営受託の拡大、認可保育園の児童数増加により、売上高は2,850百万円（前年同期比11.4%増、290百万円増）、営業利益は103百万円（前年同期比0.8%増、0百万円増）となりました。

d. 倉庫事業

倉庫事業は、労務費および各種コストは上昇も新規取引先の開拓、荷扱い量の増加により、売上高は179百万円（前年同期比4.0%増、6百万円増）、営業利益は14百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

e. 機械販売事業

機械販売事業では、「自動濃度制御装置」1台を販売、技術転用により異業種への販売拡大を実施しました。また、前年はベトナム向け8台の販売実績があったため、売上高は49百万円（前年同期比27.4%減、18百万円減）、営業損失は1百万円（前年同期は営業利益2百万円）となりました。

f. 洗濯事業

洗濯事業は、ホテル・レジャー関連は好調に推移しました。また、新規設備導入による売上拡大を図りました。労務費・エネルギー費の増加に対応するため価格改定を実施するも、人員確保や設備維持補修に関わる費用増加により、売上高は123百万円（前年同期比15.5%増、16百万円増）、営業利益は8百万円（前年同期比29.5%減、3百万円減）となりました。

g. その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は70百万円（前年同期比2.6%減、1百万円減）、営業利益は57百万円（前期比3.3%減、1百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、15,016百万円（前連結会計年度末比3.2%増、462百万円増）となりました。これは主に現金及び預金の増加534百万円、電子記録債権の増加69百万円、建物及び構築物の減少57百万円、機械装置及び運搬具の減少67百万円、投資有価証券の増加75百万円等によるものです。

負債は、6,772百万円（前連結会計年度末比3.5%増、228百万円増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加84百万円、短期借入金の減少82百万円、長期借入金の増加125百万円、退職給付に係る負債の減少83百万円等によるものです。

純資産は、8,243百万円（前連結会計年度末比2.9%増、233百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加168百万円、配当金の支払による減少63百万円、その他有価証券評価差額金の減少37百万円、為替換算調整勘定の増加63百万円、非支配株主持分の増加100百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想数値につきまして、第3四半期連結累計期間の業績に加え、国内及び海外ともに染色加工事業において一層の収益改善が見込まれるため、2024年12月20日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年2月5日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,680,452	3,214,630
受取手形	92,008	89,871
売掛金	1,965,265	1,855,741
電子記録債権	547,906	617,848
商品及び製品	213,249	232,617
仕掛品	455,021	455,153
原材料及び貯蔵品	489,502	464,796
その他	261,634	297,558
貸倒引当金	△4,272	△2,344
流動資産合計	6,700,768	7,225,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,380,905	1,323,852
機械装置及び運搬具（純額）	1,630,048	1,562,808
土地	1,779,814	1,787,983
建設仮勘定	12,236	7,726
その他（純額）	86,386	91,827
有形固定資産合計	4,889,391	4,774,197
無形固定資産		
のれん	17,904	13,772
その他	72,690	65,497
無形固定資産合計	90,594	79,270
投資その他の資産		
投資有価証券	2,598,189	2,673,911
その他	356,248	333,043
貸倒引当金	△81,456	△70,171
投資その他の資産合計	2,872,982	2,936,783
固定資産合計	7,852,967	7,790,251
資産合計	14,553,736	15,016,124

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566,466	651,180
電子記録債務	724,951	741,804
短期借入金	1,215,000	1,132,500
未払法人税等	96,537	129,603
賞与引当金	102,700	65,255
修繕引当金	27,600	—
その他	959,053	1,029,915
流動負債合計	3,692,309	3,750,259
固定負債		
長期借入金	1,250,000	1,375,000
役員退職慰労引当金	13,289	14,418
退職給付に係る負債	672,219	589,168
資産除去債務	96,674	95,824
その他	819,519	948,198
固定負債合計	2,851,703	3,022,609
負債合計	6,544,013	6,772,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,440,431	1,545,997
自己株式	△702,342	△702,546
株主資本合計	6,438,209	6,543,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,029,624	991,644
繰延ヘッジ損益	681	283
為替換算調整勘定	△610,739	△546,883
退職給付に係る調整累計額	△21,879	△20,037
その他の包括利益累計額合計	397,686	425,006
非支配株主持分	1,173,827	1,274,677
純資産合計	8,009,722	8,243,255
負債純資産合計	14,553,736	15,016,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,890,519	10,435,609
売上原価	8,739,017	8,935,140
売上総利益	1,151,501	1,500,468
販売費及び一般管理費	1,185,833	1,236,893
営業利益又は営業損失(△)	△34,331	263,575
営業外収益		
受取利息	10,135	18,537
受取配当金	67,941	67,656
為替差益	11,174	—
雑収入	12,898	11,129
営業外収益合計	102,148	97,323
営業外費用		
支払利息	10,048	11,112
為替差損	—	24,349
支払手数料	4,736	6,822
雑支出	4,356	8,545
営業外費用合計	19,142	50,830
経常利益	48,675	310,068
特別利益		
固定資産売却益	—	1,610
投資有価証券売却益	—	85,652
受取保険金	—	32,330
抱合せ株式消滅差益	24,429	—
特別利益合計	24,429	119,593
特別損失		
火災損失	—	38,034
特別退職金	27,187	—
特別損失合計	27,187	38,034
税金等調整前四半期純利益	45,917	391,627
法人税、住民税及び事業税	41,022	135,445
法人税等調整額	20,561	△4,672
法人税等合計	61,583	130,773
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,666	260,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,342	92,154
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,008	168,700

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,666	260,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266,123	△37,979
繰延ヘッジ損益	△883	283
為替換算調整勘定	350,586	107,921
退職給付に係る調整額	△5,296	7,986
その他の包括利益合計	610,529	78,211
四半期包括利益	594,862	339,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,874	194,873
非支配株主に係る四半期包括利益	168,987	144,192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

従来、当社の数理計算上の差異の費用処理年数は7年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を6年に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ81千円減少しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	327,054千円	306,533千円
のれんの償却額	4,131千円	4,131千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	子育て 支援	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	6,796,444	268,551	2,559,990	33,349	68,558	106,041	9,832,935	57,583	9,890,519	—	9,890,519
セグメント間の内部売上高又は振替高	54,497	8,582	—	139,592	—	729	203,401	14,844	218,246	△218,246	—
計	6,850,942	277,133	2,559,990	172,941	68,558	106,770	10,036,337	72,428	10,108,765	△218,246	9,890,519
セグメント利益又は損失(△)	△231,271	20,752	102,407	△1,934	2,898	11,689	△95,456	59,505	△35,951	1,620	△34,331

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	子育て 支援	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,091,140	234,378	2,850,776	32,522	49,742	122,042	10,380,601	55,008	10,435,609	—	10,435,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	61,628	10,347	—	147,339	—	1,255	220,569	15,513	236,082	△236,082	—
計	7,152,768	244,725	2,850,776	179,861	49,742	123,297	10,601,171	70,521	10,671,692	△236,082	10,435,609
セグメント利益又は損失(△)	65,429	13,841	103,197	14,801	△1,715	8,243	203,797	57,527	261,325	2,250	263,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,250千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。